



ASTM D4169輸送試験サービス

[ASTM D4169輸送試験を計画されているご担当者様必見！！]

米国で長期間にわたって参照されてきた、輸送包装試験規格の一つです。当サービスでは、ASTM輸送試験計画の立案から、輸送試験実施、試験実施後の試験報告書作成まで、更にご要望に応じて、万一の試験不合格時の包装仕様見直しまでを支援するサービスです。

【試験シーケンス】

スケジュール	ハザード	対応試験
A	荷扱い（人手・機械荷役）	落下・衝突・安定性
B	倉庫内での積重ね	圧縮
C	輸送中の積重ね	圧縮
D	積重ね振動	振動
E	輸送振動	振動（ランダム振動を推奨）
F	固定されない貨物の振動	跳ね上がり振動
G	鉄道貨車での連結	水平または傾斜衝撃
H	環境（気候）	温湿度サイクル
I	航空機等の低気圧	低圧（高高度）
J	衝撃	Concentrated Impact

【ASTM D4169輸送試験の特長】

■輸送中の10のハザード要因別対応試験が規定されており、実輸送環境に合わせそれぞれ試験を組合わせて全体試験を構成します。

■試験は、包装貨物の形状や重量・輸送手段別に18のDistribution Cycleがあり、どれかを選択の上、規格手順に従って試験を実施します。

■保証レベル（試験厳しさ）が3段階あり、振動試験における強さ（Grms）や落下高さなど、保証レベルによって試験条件が異なります。

■JIS Z 0200やISO 4180とコンセプトは似ていますが、試験方法や規定されている数値が異なっております。

【JBLの強み】

- （1）ISTA認定試験設備により信頼性の高い試験を実現いたします。
- （2）社内にはISTA CPLPテクノロジスト、テクニシャンが在籍しており、ISTAとのアライアンスにより最新の専門情報を収集し試験に役立てる事が出来ます。
- （3）JBLが保有する試験機は大型貨物に対応しています。試験室内には大型の走行クレーンが完備され、パレタイズされた大型重量貨物も安全かつ迅速に試験出来ます。
- （4）各種包装試験設備をバランスよく取り揃え、海外規格のシーケンシャル試験にも1拠点でほぼ全ての試験が実施できます。



試験室内の走行クレーン



振動試験実施時の様子